

◆ このページのねらい

- 避難行動のきっかけとして、「台風が発生」してから「川が氾濫」するまでの時間や川の水位の変化について知ってもらいましょう。

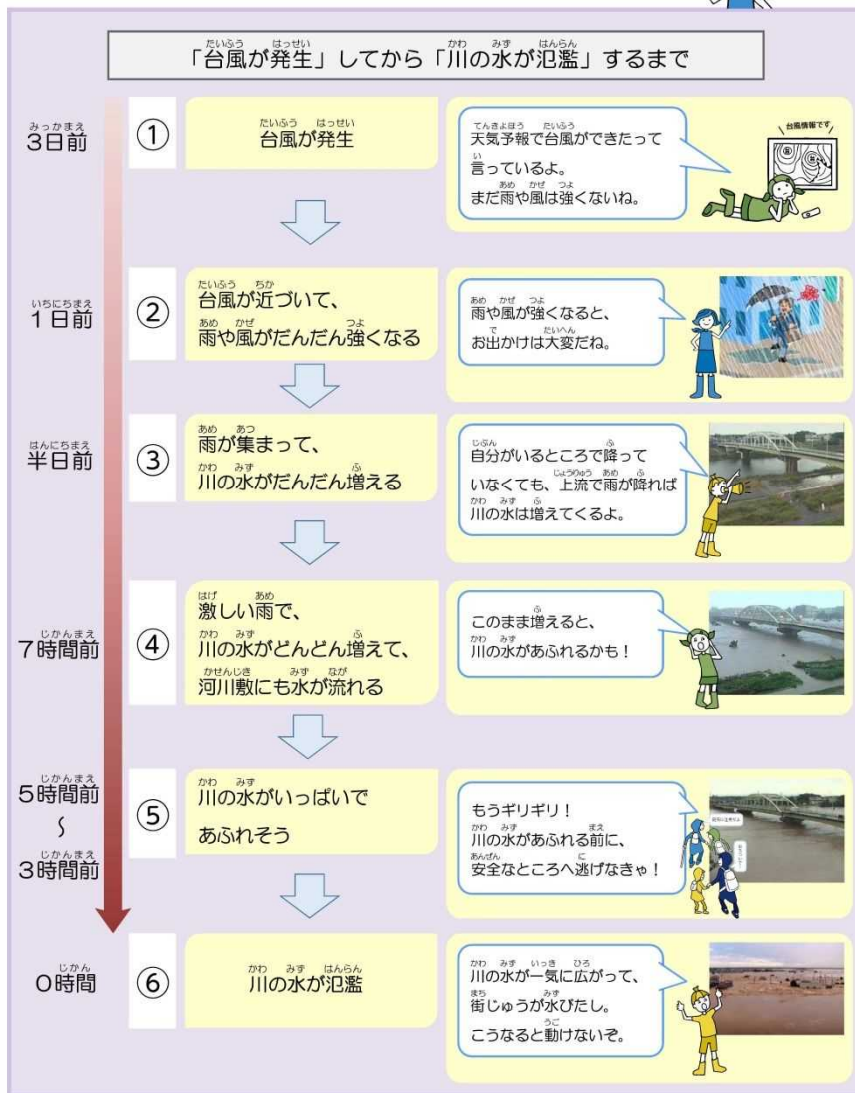
説明時間の目安：3分

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！

確認してみよう！

地震はいきなりやってくるけど、洪水はだんだんやってくるよ！

資料1



◆ ポイント

- 台風が発生してからの川の状況の変化とかかる時間を確認してもらうことが重要です。

◆ 説明する際のシナリオの例

- 台風は地震等と違い、早い段階で発生状況を知る事ができます。近年では発生の日前から気象庁のホームページで台風情報を確認する事ができます。
- ただし、時間はあくまで想定であり、実際の洪水は想定どおり進むとは限りません。台風の進行に合わせて最新の情報を入手することが大切です。



◆ このページのねらい

- ・ 洪水時に得られる情報について、気をつけるポイントや情報の取得方法について知ってもらいましょう。

説明時間の目安：2分

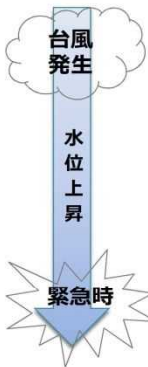
STEP 2

## 6. 洪水時に得られる情報と読み解き方

### ■ 避難行動を判断するときに有効な情報

洪水時に得られる情報は、台風、雨、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

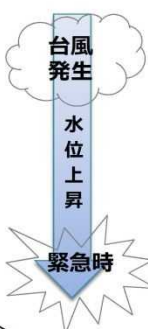
情報	気をつけるポイント
台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風の大きさ</li> <li>・ 台風の強さ</li> <li>・ 台風の進路</li> </ul>
雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨量</li> <li>・ 雨の降っている地域（川の上流）</li> <li>・ 今後の見通し</li> </ul>
川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近くの川の水位</li> <li>・ 上流の川の水位（今後の見通し）</li> <li>・ 氾濫の発生</li> </ul>
避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）</li> <li>・ 避難場所の開設情報</li> <li>・ 交通の状況</li> </ul>



### ■ 情報を知る手段

洪水時は、テレビ、パソコン、スマートフォン、携帯電話など様々な手段で情報を収集することができます。

情報	情報を知る主な手段
台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビやラジオの天気予報</li> <li>・ 気象庁のホームページ</li> </ul>
雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビやラジオの天気予報</li> <li>・ 気象庁のホームページ</li> </ul>
川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビのデータ放送</li> <li>・ 河川事務所のホームページ、SNS</li> </ul>
避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市のホームページ、SNS、同報無線</li> <li>・ 市の防災メール配信サービス</li> <li>・ 県のホームページ、SNS</li> <li>・ 交通機関のホームページ、SNS</li> </ul>



### ◆ ポイント

- ・ 台風の発生から緊急時までの洪水の進行に伴って、有効な情報内容とその取得方法が変化します。

### ◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 上段の表は、「避難するためにどんな情報を知ればよいのか?」、「状況が変化する中で何を気にすればよいのか?」というポイントを時間軸に沿ってまとめたものです。
- ・ イメージとしては遠くの海上で台風が発生→その後台風が近づくと雨が強まり川の水位が上昇→危険度が上がってくると避難という流れになります。
- ・ 下段の表では、情報を知ることのできる主な手段を紹介しています。

◆ このページのねらい

- ・ 洪水時に得られる情報の取得方法を知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 2

■ 台風に関する情報

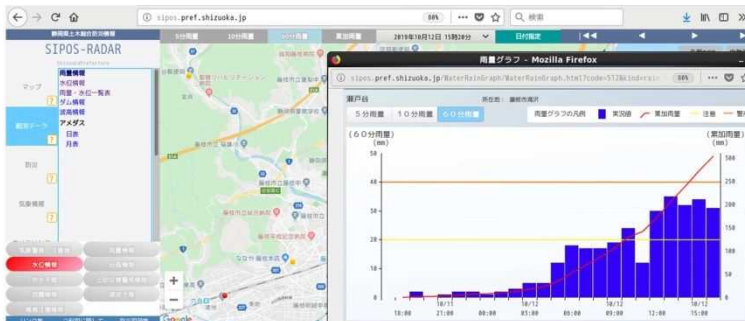
テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォン・携帯電話で、気象庁のホームページにアクセスすれば、台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域等を確認できます。

気象庁ホームページ	<a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>
-----------	---

■ 雨に関する情報

- ・ パソコン、スマートフォン・携帯電話で、気象庁ホームページにアクセスするか、NHK 総合テレビのデータ放送を見ると、雨量観測所のリアルタイム情報、レーダ雨量(XRAIN)情報を見ることができます。
- ・ さらに、SIPOS-RADAR (サイボスレーダー) にアクセスすることで各雨量観測所の時間毎雨量や累加雨量を確認することができます。

川の防災情報ホームページ	<a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a>
気象庁ホームページ	<a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>
SIPOS-RADAR(サイボスレーダー)	<a href="http://sipos.pref.shizuoka.jp/">http://sipos.pref.shizuoka.jp/</a>



- ・ サイボスレーダーでは、周辺の雨量観測所（瀬戸谷や藤枝、宮島など）の雨量グラフを確認することができます。
- ・ サイボスレーダーの詳しい紹介や、藤枝市内の雨量、水位観測所の位置などは、23 ページを御覧ください。



◆ ポイント

- ・ 掲載している URL は、各サイトのトップページになっています。
- ・ いざというときにご自身の地区の情報を素早く入手するためにも、前もってご自身で確認しておくことが効果的です。
- ・ サイボスレーダーでは、静岡県の雨量や川の水位を調べる事ができますので、ぜひ活用してみてください。（P49 でさらに詳しく説明しています）

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 台風に関する情報です。皆様、現在では毎日のようにテレビで天気予報が流れ、気にしていなくても情報は入ってくるかもしれません。
- ・ ただ、予報よりも多くの雨が降ることも当然ありますので、逐次最新の情報をチェックすることが重要です。

◆ このページのねらい

- ・ 洪水時に得られる情報の取得方法を知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

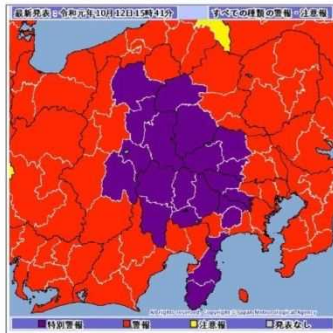
STEP 2

■ 気象に関する警報・注意報

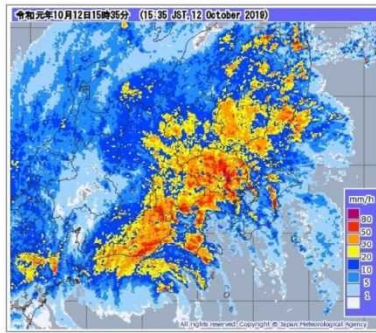
- ・ 気象庁ホームページにアクセスすれば、警報・注意報の発表状況や、注意警戒すべき期間、ピーク時間、雨量の予想などを確認できます。
- ・ 「大雨特別警報」は台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合などに発表されます（警戒レベル5相当）。

令和元年10月に発生した台風第19号では、静岡県を含む1都12県で大雨特別警報が発表されました。（静岡県内では初）

特別警報の発表状況



雨雲の様子



■ 川に関する状況

- ・ パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページや、SIPOS-RADAR（サイボスレーダー）にアクセスすると、水位観測所のリアルタイム情報、河川の洪水予報を確認できます。
- ・ NHK 総合テレビのデータ放送でも、水位観測所のリアルタイム情報を確認できます。

川の防災情報ホームページ	<a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a>
SIPOS-RADAR (サイボスレーダー)	<a href="http://sipos.pref.shizuoka.jp/">http://sipos.pref.shizuoka.jp/</a>
藤枝市水位・雨量観測システム	<a href="http://ik1-303-11643.vs.sakura.ne.jp/fujieda_pub/">http://ik1-303-11643.vs.sakura.ne.jp/fujieda_pub/</a>

◆ ポイント

- ・ ここでは、ワークショップ直前に発生した令和元年台風第19号について紹介しました。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 気象に関する警報・注意報には、大雨、暴風、波浪、高潮などの種類があります。
- ・ 令和元年台風第19号では静岡県内では初となる「大雨特別警報」が伊豆半島で発表されています。
- ・ 川に関する情報では、サイボスレーダーで川の水位を調べるのが効果的です。次ページで紹介しています。

◆ このページのねらい

- ・ SIPOS-RADAR（サイポスレーダー）で知ることのできる情報を知ってもらいましょう。


説明時間の目安：3分

STEP 2

**SIPOS-RADAR サイポスレーダーについて**

サイポスレーダーでは、静岡県内の各河川の観測所における現時点の観測値や過去の変化を見ることが出来ます。また、ライブカメラの画像で河川の様子を確認することもできます。

**ライブカメラ（勝草橋）**



**勝草橋、助宗端（上流側）の水位情報**



■ 氾濫危険水位 260cm  
河川が氾濫する恐れのある水位

■ 避難判断水位 225cm  
避難情報発表の目安

■ 氾濫注意水位 200cm  
河川の氾濫の発生を注意する水位

■ 水防団待機水位 150cm  
水防団が待機する目安となる水位

現在の水位

■ 氾濫注意水位 190cm  
河川の氾濫の発生を注意する水位

■ 水防団待機水位 120cm  
水防団が待機する目安となる水位

現在の水位

◆ ポイント

- ・ サイポスレーダーでは静岡県内の河川の水位、雨量、防災、気象情報などに関する最新情報を入手できます。
- ・ ライブカメラでは現在やそれ以前の河川の映像を確認することができます。
- ・ 近傍だけでなく、上流の水位観測所の水位情報も掲載すると良いでしょう。

※1 ライブカメラについて、土木事務所が水防業務で使用している間は確認できない場合があります。

※2 水位情報は、水位計の誤作動や故障により異常値等が出る場合があります。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ サイポスレーダーでは、静岡県内の各河川の観測所における現時点の観測値や過去の変化を見ることができます。
- ・ また、ライブカメラの画像で河川の様子を確認することもできます。
- ・ 河川水位には、水防団待機水位、氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位があり、洪水予報の基準にもなっています。

◆ このページのねらい

- ・ 5段階の警戒レベルを用いた防災情報について知ってもらい、各レベルでとるべき行動や各レベルに相当する気象情報について知ってもらう。

説明時間の目安：4分

STEP 2

■ 避難に関する情報

藤枝市からの避難情報（避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）、避難場所の開設状況）は、防災行政無線、市防災メール、広報車、テレビのデータ放送、SNS等で発信されます。

藤枝市ホームページ	<a href="https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/">https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/</a>
藤枝市ツイッター	@Fujieda_City

藤枝市災害情報メール配信サービス「キックオフメール」

地震や台風などの防災情報のほか、同報無線の放送内容、市役所からのお知らせ・イベント情報などを配信します。

下記アドレスへ空メール（件名・本文は不要）を送信してください。  
kickoff-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com



🔔 「警戒レベル」を用いた防災情報の発信について

平成30年7月豪雨の被害を受け、全国で5段階の「警戒レベル」を用いた防災情報の発信を開始しました。藤枝市では、令和元年6月17日から「警戒レベル」を用いた防災情報の発信を行っています。避難情報は「警戒レベル」と併せて発信されます。

警戒レベル	避難情報	取るべき行動	警戒レベル相当情報 (洪水予報・気象警報等)	洪水予報の基準
5	災害発生情報	命を守るための最善の行動を取る。	氾濫発生情報	氾濫が発生
4	避難勧告 避難指示(緊急)	いつ氾濫してもおかしくない状態となっており、緊急に避難すべき。	氾濫危険情報	水位観測所の水位が氾濫危険水位に到達
3	避難準備・高齢者等避難開始	高齢者等は立退き避難する。その他のものは立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	氾濫警戒情報 洪水警報など	一定時間後、水位観測所の水位が氾濫危険水位に到達することが見込まれる
2	-	氾濫に備えて自らの避難行動を確認する。	氾濫注意情報	水位観測所の水位が氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる

◆ ポイント

- ・ 避難に関する情報は各自治体で様々です。
- ・ 最近では、行政でもフェイスブックやツイッター等のSNSによる情報発信も行われています。
- ・ 平成30年3月に「避難勧告等に関するガイドライン」が改訂されて、避難勧告等の情報を5段階の警戒レベルに区分して提供することになりました。
- ・ 警戒レベル3で高齢者などは避難を開始、警戒レベル4では全員避難となります。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 避難に関する情報は、テレビやラジオ、防災無線、エリアメールなどでも伝達されます。
- ・ 警戒レベル5は、既に氾濫等の災害が発生している状況です。警戒レベル4の避難情報が発令されたら全員避難する事が重要です。地域の皆様で声を掛け合って安全、確実に避難してください。
- ・ レベル4相当の避難情報が発表されても、毎回必ず災害に結びつくとは限りません。しかし、避難が無駄と考えるのは非常に危険です。

◆ このページのねらい

- ・ 避難情報発令の基準について確認する。

説明時間の目安：1分

STEP 2

瀬戸川における避難情報発令の基準

次のいずれかに該当する場合、総合的な判断の上、避難情報が発令されます。

種類	避難判断	避難情報発令区域
避難準備・高齢者等 避難開始  (警戒レベル3)	① 勝草橋水位観測所の水位が避難判断水位である2.25mに到達し、かつ、氾濫警戒情報(洪水予報)において引き続きの水位上昇が見込まれている場合	ハザードマップで想定 浸水深が50cmを超える 区域
	② 勝草橋水位観測所の水位が避難判断水位である2.25mに到達し、かつ、上流域の助宗橋水位観測所の河川水位が上昇している場合	
	③ 勝草橋水位観測所の水位が氾濫注意水位である2.0mに到達し、かつ、上流域の気象情報、降水短時間予報で、1時間雨量80mm以上かつ3時間雨量150mm以上の降雨が予想または実測され、今後も継続すると予想される場合	発見箇所周辺を含む 下流域
	④ 漏水等が発見された場合	
避難が夜間、早朝と なる場合	① 勝草橋水位観測所の水位が水防団待機水位である1.5mに到達し、かつ、上流域の気象情報、降水短時間予報で、1時間雨量80mm以上かつ3時間雨量150mm以上の降雨が予想される場合	ハザードマップで想定 浸水深が50cmを超える 区域
	② 勝草橋水位観測所の水位が水防団待機水位である1.5mに到達し、かつ、降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近、通過し、多量の降雨が予想される場合	
避難勧告  (警戒レベル4)	① 勝草橋水位観測所の水位が氾濫危険水位である2.6mに到達した場合	ハザードマップで想定 浸水深が50cmを超える 区域
	② 勝草橋水位観測所の水位が氾濫注意水位である2.0mを超えた状態で、氾濫注意情報(洪水予報)の水位予測により、水位が堤防高である4.3mを超えることが予想され、急激な水位上昇による氾濫のおそれのある場合	
	③ 勝草橋水位観測所の水位が避難判断水位である2.25mを超えた状態で、かつ、上流域の気象情報、降水短時間予報で、1時間雨量80mm以上かつ3時間雨量150mm以上の降雨が予想または実測され、急激な水位上昇による氾濫のおそれのある場合	
	④ 異常な漏水等が発見された場合	発見箇所周辺を含む 下流域
避難が夜間、早朝と なる場合	① 勝草橋水位観測所の水位が氾濫注意水位である2.0mに到達し、かつ、上流域の気象情報、降水短時間予報で、1時間雨量80mm以上かつ3時間雨量150mm以上の降雨が予想され、急激な水位上昇による氾濫のおそれのある場合	ハザードマップで想定 浸水深が50cmを超える 区域
	② 勝草橋水位観測所の水位が氾濫注意水位である2.0mに到達し、かつ、降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近、通過し多量の降雨が予想される場合	
避難指示(緊急)  (警戒レベル4)	① 勝草橋水位観測所の水位が堤防天端高である4.3m(右岸)に到達するおそれが高い場合	ハザードマップで想定 浸水深が50cmを超える 区域
	② 決壊や越水・溢水の発生又は氾濫発生情報が発表された場合	
	③ 異常な漏水の進行や亀裂・すべり等により決壊のおそれが高まった場合	発見箇所周辺を含む 下流域

〔藤枝市 避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)〕(平成29年4月)に一部加筆

◆ ポイント

- ・ 避難情報発令の基準は各自治体の「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」に掲載されている場合があります。

※ このページは紹介程度でも構いません。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 避難情報はこれらの避難判断基準に達したら必ず発令されるわけではなく、気象状況などを総合的に判断した上で発令されます。



◆ このページのねらい

- ・ 静岡県総合防災アプリの活用方法について知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 2

スマートフォンアプリを活用しよう

静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」

豪雨等による災害発生前の避難行動を促す各種緊急情報の通知をはじめ、平常時の災害への備えとして、ハザードマップの確認、防災知識の習得や避難トレーニングなど、災害から命を守るために、役立つ機能を幅広く備えたアプリ、それが総合防災アプリ「静岡県防災」です。

▶ プッシュ通知から現在地の危険度も素早くスマートに！



▶ 災害時・平常時ともに利用者をサポートする6つの機能！



アプリのダウンロード方法や使い方については静岡県危機管理部のホームページから確認できます。  
<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>



◆ ポイント

- ・ 静岡県防災アプリでは現在地周辺の指定避難所・指定緊急避難場所が表示され、AR カメラ機能や避難コンパス機能で災害時の避難行動を支援します。
- ・ また、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域などのハザードマップも表示されますので、現在地の危険性を確認できます。
- ・ さらに、避難情報や気象警報など、各種防災情報をプッシュ通知でお知らせします。
- ・ その他、民間の防災用アプリについて紹介するのも良いでしょう。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 静岡県防災アプリでは、プッシュ通知により防災緊急情報を取得でき、ハザードマップや避難先、災害の切迫度を確認することができます。
- ・ 災害時・平常時ともに利用者をサポートする6つの機能で、災害時の避難行動について学習することができます。

◆ このページのねらい

- ・ タイムラインとその考え方について知ってもらいましょう。

説明時間の目安：2分

STEP 2

## 7. タイムラインの考え方

### ■ タイムラインとは

防災行動の「何時」「何を」「誰が」が明確になります。

- ✓ 次に何をするか
- ✓ 今は何をすべきか
- ✓ 誰の動きにつながるか



#### 行動の例

3 日前  
半日前  
5 時間前  
3 時間前  
氾濫発生！



※写真はイメージです

- ・ テレビの天気予報を注意して見る。
- ・ 1 週間分の薬を病院に受け取りに行く。
- ・ 家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認する。
- ・ 避難する時の持ち物を準備する。
- ・ 携帯電話の充電をしておく。
- ・ ハザードマップで避難場所、避難手段を確認する。
- ・ 川の水位をインターネットで確認する。
- ・ 通行止め情報がないか、インターネットで確認する。
- ・ 川の水位をインターネットで確認する。
- ・ テレビ等で洪水予報の確認をする。
- ・ 市内の指定避難場所への避難開始を判断する。  
(高齢者や小さな子供がいる家は早めに避難を開始)
- ・ 市内の指定避難場所への避難を完了する。



### ◆ ポイント

- ・ タイムラインとは、洪水の発生に備えて時系列的に防災行動を整理したもののことです
- ・ タイムラインをイメージしやすいよう、川の水位の上昇イメージの写真と、住民の行動の例を並べて示しましょう。
- ・ 一番下を「氾濫発生」としましょう。

### ◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ タイムラインでは氾濫発生の3日前からの行動を整理していきます。
- ・ 3日前というのは大げさと感じるかもしれませんが、しかし、台風が直撃する1日前に買い出しに行っても、水や食料が売り切れている可能性があります。直前で不足に気づいても備えられるとは限りません。
- ・ 予め行動を定めておくことで、万全の準備ができるのです。

◆ このページのねらい

- ・ タイムラインが持つ、平常時・災害時の役割について知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 2

**平常時の役割**

- 現状が明確になり、課題を抽出できます
- 地域をつなぐコミュニケーションツールになります

リスクを認識できる

- ・ 自分の家が浸水してしまう
- ・ 避難場所まで遠い など

コミュニケーションの輪が広がる

- ・ 検討会での意見交換などで知り合いになれる
- ・ ご近所とのつながりが強く、太くなる

逃げるタイミングがわかる

- ・ いつ逃げる？
- ・ 誰と逃げる？
- ・ 危険な場所をさけて逃げるには？



**災害時の役割**

- 災害時の防災行動のチェックリストになり、対応の漏れを防止できます

行動をチェック

- ・ 避難に必要なものを確認できる
- ・ 安全な避難経路を確認できる

判断をサポート

- ・ 落ち着いて冷静な行動がとれる

- 🔗 実践や訓練で検証し、継続的に見直すことでタイムラインは進化します。
- 🔗 継続的にタイムラインを見直していくことにより、防災力が向上します。

✎メモ

---



---



---

◆ ポイント

- ・ 平常時の役割、災害時の役割を知ること、マイ・タイムラインを作成する目的を理解できます。

- ・ タイムラインを見直すことの有効性を理解してもらいましょう。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 平常時には、まず自分たちの住んでいる地域の水害リスクを確認できます。また、逃げるタイミングについても避難情報等から確認できます。そして、本日意見交換を行うことでコミュニケーションの輪が広がっていきます。
- ・ 災害時には、作成したマイ・タイムラインがチェックリストとなり対応の遅れが防止できます。そして継続して見直すことで、防災力の向上に繋がります。

◆ このページのねらい

- ・ タイムラインは万能ではありません。使用する際の注意点と使用時の心得について知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 2

■ タイムライン使用時の心得

マイ・タイムラインを作成すると、自分と家族がとるべき防災行動の「何時」が明確になりますが、次の点に注意しておく必要があります。

【タイムライン使用時の注意点】



注意 1	台風が進み方、雨の降り方、川の水位の上がり方は洪水毎に異なります。マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するわけではありません。
注意 2	同様に、氾濫した際の浸水深や浸水継続時間も洪水毎に異なります。マイ・タイムラインの検討に当たって想定したとおりに氾濫するわけではありません。
注意 3	気象警報、洪水予報、避難情報等は実際の気象や河川の状況に応じて発表・発令されるため、マイ・タイムライン上の時間と一致しないことがあります。
注意 4	マイ・タイムライン上の時間は、時計のように進むわけではありません。例えば、タイムライン上で氾濫発生が3時間前となっても、水防団（消防団）の水防活動等によって進行を遅らせることができ、結果として3時間経っても氾濫に至らない場合も想定されます。

そのため、実際の洪水においてマイ・タイムラインを使用する際には、次の心得を踏まえて行動してください。

【タイムライン使用時の心得】

心得 1	マイ・タイムラインで定めた「何時」は、あくまで行動の目安として認識する。
心得 2	洪水時はテレビやパソコンなどで、台風の進路、降雨の状況、河川の水位、気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
心得 3	収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

◆ ポイント

- ・ 洪水は自然現象のため、タイムラインで想定したとおりに進行するとは限らないことを確認します。

- ・ 洪水が発生した際には、タイムラインを参考に臨機応変な対応をすることを確認します。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 注意 1、2 は、洪水などの自然現象は予定通りには進まないため、タイムラインの想定と一致しないこともある旨が書かれています。注意 3、4 は、警報や避難勧告といった行政情報はマイ・タイムラインの時間通りに発令されるとは限らない旨が書かれています。
- ・ 洪水発生時にはタイムラインで行動を確認しつつも、状況を総合的に判断した上で臨機応変な対応を行う心得を持ちましょう。

◆ このページのねらい

- ・ ご自身や家族の情報を整理し、最適な避難方法を考えてもらいましょう。

説明時間の目安：4分

STEP 2

## 8. 洪水時の自らの行動を想定

👤 避難行動を想定する前に、家族のことを整理しましょう。

名前	年齢	必需品	昼の居場所	備考
例) 藤枝 太郎	〇〇	血圧を下げる薬	デイサービス	足をケガしている

- ・ 自動車の有無： 有 ( )
- ・ 親戚など避難を受け入れてくれる場所の有無： 有 ( )
- ・ ペットの有無： 有 ( )

### ■ 避難の方法

避難の方法	留意点
<b>自宅に残る</b> 自宅などその場にとどまり安全を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅が平屋の場合は、浸水深が 50cm (床上浸水) を越えないこと</li> <li>・ 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと</li> <li>・ 浸水継続時間が長い場合は、食料、水、常用薬等の準備をしておくこと</li> </ul>
<b>指定避難場所へ移動</b> 市が指定する近傍の避難場所へ移動し、安全を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定避難場所が平屋の場合は、浸水深が 50cm (床上浸水) を越えないこと</li> <li>・ 指定避難場所が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと</li> <li>・ 浸水継続時間が長い場合は、常用薬等の必需品を準備しておくこと (事前にハザードマップ等で指定避難場所の場所を確認)</li> </ul>
<b>市内の高台へ移動</b> 市内の浸水想定区域外などへ移動し、安全を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難経路の浸水深を確認すること</li> <li>・ 移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること</li> <li>・ 食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (高台へ移動する前に通行止め状況や渋滞状況を確認)</li> </ul>
<b>隣接市町へ移動</b> 隣接市町の浸水想定区域外などへ移動し、安全を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難経路の浸水深を確認すること</li> <li>・ 移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること</li> <li>・ 食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (隣接市町村のハザードマップで避難場所を確認)</li> </ul>

◆ ポイント

- ・ 避難の準備や有効な避難を検討する上で、重要な情報を整理します。
- ・ 【必需品の記載例】常用薬、眼鏡、粉ミルク、おむつ、携帯電話、現金、通帳、印鑑 など
- ・ 4つの方法それぞれに留意点があります。STEP1で確認したご自身の地区や家庭の状況を踏まえることが重要です。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 家族のことを整理してみましょう。記入し終えたら、周囲の方と相談することで気づくこともあります。(約2～3分程度)
- ・ 避難の方法には主に4つ方法があります。自宅に残る方も多いかと思いますが、床上浸水となる場合は、水・食料・常用薬などが必要になります。
- ・ 指定避難場所へは、洪水が発生する前に避難することが重要です。

◆ このページのねらい

- ・ 避難所への移動手段とそれぞれの長所・短所を知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 2

■ 避難場所への移動手段

移動手段 参考速度	長 所	短 所
徒歩 成 人：4 km/h 高齢者：3 km/h	・車が入れない場所でも移動できる ・緊急時の対処が他の手段に比べ対応しやすい	・避難場所まで遠い場合や雨の中を歩くのは、高齢者や子供にとって大変
自家用車 40 km/h	・高齢者や子供を連れて避難する場合に有効 ・徒歩に比べて、移動速度が速い ・雨に濡れずに避難ができる	・水に浸かると動けなくなる恐れがある ・渋滞にはまる恐れがある ・避難場所に駐車場がない場合がある ・緊急車両の通行の妨げになる恐れがある 
公共交通機関 電車：80 km/h バス：40 km/h	・一度に多くの人を輸送できる	・決まった運行場所・運行時間のため、各自の避難したいタイミングなどと折り合わない恐れがある ・避難場所に直接たどり着けない



避難にも、いろいろな方法があります。留意点を理解し、いざと言うときにベストな方法を判断できるようにしましょう。

メモ

---



---



---



---



---

◆ ポイント

- ・ それぞれの移動手段の長所・短所を確認しておきましょう。
- ・ 令和元年台風第19号では死亡した方のうち3割が車中死である事がわかっています。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 洪水時の避難所への移動手段の原則は徒歩ですが、徒歩以外の手段についても、長所と短所をまとめました。
- ・ 自動車での移動は一見便利に見えますが、実は危険を伴います。アンダーパスや川沿い、急傾斜地など危険な場所には近づかない事が重要です。また危険を感じたら車から速やかに脱出するようにしましょう。

◆ このページのねらい

- ・ 氾濫発生後の避難は大変危険であることを知ってもらいましょう。

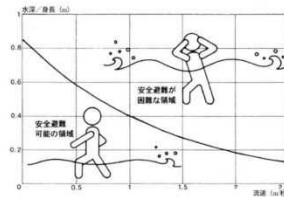
説明時間の目安：3分

STEP 2

■ 洪水時の避難の危険性

【実験データ】

浸水深が0.5m（大人の膝）程度で、  
氾濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となります。



<出典：水害ハザードマップ作成の手引き>

【洪水氾濫時の移動困難事例】

平成24年7月九州北部豪雨での沖端川の堤防決壊で氾濫流により移動が困難となりました。  
水深は、ガードレールとほぼ同じ高さに氾濫水の水面があることから0.5m～0.6mと推算されます。



<出典：水害ハザードマップ作成の手引き>

【氾濫水は濁っている】

氾濫水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は見えません。  
やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足元を確認しながら移動しましょう。



<出典：水害ハザードマップ作成の手引き>

【避難するときに長靴はダメ！】

長靴に水が入ると、重たくなります。水に強いと思われがちな長靴ですが、逆に避難するときに足手まといになってしまう場合がありますので、避難するときに長靴をはくのはやめましょう。



◆ ポイント

- ・ 氾濫発生後に避難することの危険性を実験データや写真で確認しておきましょう。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 氾濫が発生してからの避難が危険であることを示しています。大人の膝ぐらいまでの深さで浸水しますと、歩行は困難になります。なお、膝下であれば安全ということではありませんので、浸水する前には避難を完了しておくことが基本です。
- ・ 浸水した場所を歩く場合は、運動靴のような動きやすい靴で避難しましょう。また、足元が見えないので杖などを持っていると効果的です。

◆ このページのねらい

- ・ タイムラインを作成する上での避難に関する時間の整理をしてもらいましょう。

説明時間の目安：5分

STEP 2

■ 避難の方法

避難の方法と必要となる準備を記入してみましょう。早めの避難の完了を目指しましょう。

避難の方法	場所または住所	手段	① 避難を完了 したい時刻	② 移動に 要する時間	(A) 要する準備
(例1) 指定の避難場所	〇〇小学校	徒歩	3時間前	30分	持ち出し品 戸締り ・ ・
(例2) 遠くの親戚	△△市	自家用車	4時間前	60分	祖父の薬 戸締り ・ ・
自宅					
指定の避難場所					
市内の高台					
遠くの親戚					
その他 (職場など)					

◆ ポイント

- ・ 避難の方法について、1～2つ選択して、記入してもらいましょう。
- ・ グループで話し合いながら書いてもらいましょう。

※①避難を完了したい時刻の目安ですが、避難勧告が発令されてから避難を開始した場合は、30分～1時間前になります。  
高齢者等は避難勧告が発生してからでは遅いです。3時間前を目安に避難完了としておきましょう。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 左から説明します。「場所または住所」は逃げる先、「手段」は移動手段、「①避難を完了したい時刻」は、道路に氾濫水が流れてくる状態になるどのくらい前に、安全なところへたどり着いておきたいかということです。
- ・ 「②移動に要する時間」は、自宅からその場所まで移動するのにかかる時間で、最後の「要する準備」は、逃げるのに必要な準備を書き出しておく欄になります。



◆ このページのねらい

- ・ タイムラインを作成する上での避難に関する時間の整理をしてもらいましょう。

説明時間の目安：5分

STEP 2

■ 避難のタイミングの整理

34 ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。一番下の①から時間をさかのぼって書いてみましょう。

(例1) 避難の場所 <input type="text" value="〇〇小学校"/>		(例2) 避難の場所 <input type="text" value="△△市(遠くの親戚)"/>	
(A) 要する準備			
・持ち出し品 ・戸締まり ・ ・			
③ 避難場所へ移動を開始する時刻	4	時間前 (①+②)	
↑	② 要する時間 (移動時間)	30	分
① 避難を完了したい時刻	3	時間前	
避難の場所 <input type="text"/>		避難の場所 <input type="text"/>	
(A) 要する準備			
・ ・ ・ ・			
③ 避難場所へ移動を開始する時刻	<input type="text"/>	時間前 (①+②)	
↑	② 要する時間 (移動時間)	<input type="text"/>	分
① 避難を完了したい時刻	<input type="text"/>	時間前	

◆ ポイント

- ・ ①②及び(A)は前ページで整理したものです。
- ・ ①②③と下から順に時間を埋めていきましょう。
- ・ グループで話し合いながら作業することで、気づくことがあります。積極的な意見交換を促しましょう。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 前のページに記載した「①避難を完了したい時刻」、「②移動に要する時間」、「(A) 要する準備」をそのまま書いてみましょう。
- ・ 「③避難場所へ移動を開始する時刻」は①と②を足した時間を記入しましょう。

◆ このページのねらい

- ・ 台風発生から避難完了までの避難行動を、行政から発信される情報や川の水位と照らし合わせて、一人ひとりのマイ・タイムラインを作成する。

説明時間の目安：10分

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の氷が氾濫」するまでのそなえをいつから行動するか、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の氷が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

藤枝市 地区 家 マイ・タイムライン 作成年月日 年 月 日

そなえまでのおおよその時期	行政から発信される情報 例：気象・水害情報 源：河川管理者	「台風が発生」してから「川の氷が氾濫」するまで	主なそなえ	そなえの例
3日前	○台風予報 ○台風に関する都道府県の気象情報(随時)	「台風が発生」 天気予報で台風ができてきてるよ。 まだ雨や風は強くないね。	資料などで考えた順番で、シールを貼ってみよう！ オリジナルの行動も書き足そう！	○台風の今後を調べ始める
2日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する都道府県の気象情報(随時)	台風が近づいて、雨や風が強くなるよ。 まだ雨や風は強くないね。		○1週間分の菓子を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯電話等で雨や川の様子に注意 ○避難する時に持っていくものを準備する ○家族と連絡を取りあう ○携帯電話の充電 ○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位を調べ始める
1日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○大雨注意報・洪水注意報	雨が降まって、川の氷がだんだん溶えるよ。 自分がいるところで調べてなくても、上流で雨が降れば川の氷は融えてくるよ。		○家族と連絡を取りあう ○携帯電話の充電 ○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位を調べ始める
半日前	○大雨注意報・洪水注意報 ○大雨注意報・洪水注意報	雨が降まって、川の氷がだんだん溶えるよ。 自分がいるところで調べてなくても、上流で雨が降れば川の氷は融えてくるよ。		○家族と連絡を取りあう ○携帯電話の充電 ○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位を調べ始める
1.5時間前	○大雨注意報・洪水注意報 ○大雨注意報・洪水注意報	激しい雨で、川の氷がどんどん溶えて、河川敷にも氷が流れるよ。 このまま進めると、川の氷がなくなるかも。		○家族と連絡を取りあう ○携帯電話の充電 ○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位を調べ始める
1時間前	○大雨注意報・洪水注意報 ○大雨注意報・洪水注意報	川の氷が溶け、川の水が溢れそう！ もうすぐ、川の氷がなくなるよ。安全なところへ逃げなさい！		○家族と連絡を取りあう ○携帯電話の充電 ○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位を調べ始める
0時間	○大雨注意報・洪水注意報 ○大雨注意報・洪水注意報	川の氷が溶け、川の水が溢れそう！ もうすぐ、川の氷がなくなるよ。安全なところへ逃げなさい！		○家族と連絡を取りあう ○携帯電話の充電 ○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位を調べ始める

気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。

◆ ポイント

- ・ 行政からの情報や川の水位と照らし合わせながら、主な備えの欄にア～カ及び避難完了までを記入してもらいましょう。
- ・ 記入にはふせん紙などを用いると良いでしょう。

ア. 安全な所へ移動を始める

イ. 避難しやすい服装に着替える

ウ. 避難する時に持っていくものを準備する

エ. 今後の台風を調べ始める

オ. 川の水位を調べ始める

カ. 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める

避難完了

- ・ ア～カ以外にも、右列の備えの例を参考にして記入してもらいましょう。
- ・ 周囲の人と相談しながら作成することで、気づくことがあるはずですよ。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ ここまであればマイ・タイムラインはできたようなものです。左列の行政から発信される情報と照らし合わせながら、主な備えに先程のア～カを記入していきましょう。
- ・ その他にも、「薬を用意する」や「ペットの避難の準備をする」、「近所の〇〇さんに声かけする」など生活環境に応じて適宜追加してください。

## 資料.2 説明資料で使用する素材について

### (1) 各種情報の入手先

#### ■ 資料の作成に関する情報

名称	アドレスなど
逃げキッド 【提供元：(一財)河川情報センター】	<a href="http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html">http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html</a> マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」をダウンロードできる。

#### ■ 地形図に関する情報

名称	アドレスなど
地理院地図 【提供元：国土地理院】	<a href="https://maps.gsi.go.jp/">https://maps.gsi.go.jp/</a> 地形図、標高図、治水地形分類図などを表示させ、その画像を保存することができる。
静岡県 GIS 【提供元：静岡県】	<a href="https://www.gis.pref.shizuoka.jp/">https://www.gis.pref.shizuoka.jp/</a> 洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域などを確認することができる。

※地理院地図の利用方法については、64 ページより詳しく紹介します。

#### ■ 総合的な防災情報（河川の水位、雨量、防災、気象情報など）

名称	アドレスなど
サイポスレーダー (静岡県土木総合防災情報) 【提供元：静岡県】	<a href="http://sipos.pref.shizuoka.jp/">http://sipos.pref.shizuoka.jp/</a> (パソコンから) <a href="http://sipos.shizuoka2.jp/m/i/index.cgi">http://sipos.shizuoka2.jp/m/i/index.cgi</a> (携帯から) 静岡県内の河川の水位、雨量、防災、気象に関する最新の情報を提供している。
静岡県防災 【提供元：静岡県】	<a href="https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html">https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html</a> より、アプリをダウンロード（無料） 災害発生前の避難行動を促す各種緊急情報の通知をはじめ、ハザードマップの確認、防災知識の習得や避難トレーニングなど、様々な機能を備えたスマートフォン向け総合防災アプリ。

◇ その他、マイ・タイムラインの検討を行う市町に、防災情報を配信するメールサービスなどがあれば紹介すると良いでしょう。

■ 台風に関する情報

名称	アドレスなど
気象庁ホームページ 【提供元：気象庁】	<a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a> 台風の位置や強さ、今後の進路などを確認できる。

■ 雨量に関する情報

名称	アドレスなど
気象庁ホームページ 【提供元：気象庁】	<a href="https://www.jma.go.jp/jma/index.html">https://www.jma.go.jp/jma/index.html</a> 気象庁がアメダスによって観測した降水量などを掲載。
川の防災情報 【提供元：国土交通省】	<a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a> 局所的な雨量をほぼリアルタイムで観測する XRAIN（レーダ雨量計）にて観測した面的な雨量情報を見ることができる。

■ 河川に関する情報

名称	アドレスなど
川の防災情報 【提供元：国土交通省】	<a href="http://www.river.go.jp/">http://www.river.go.jp/</a> 河川の水位情報やカメラ画像などの河川情報をリアルタイムで配信している。
しずおか河川ナビゲーション 【提供元：静岡県交通基盤部河川砂防局河川企画課】	<a href="http://www.shizuoka-kasen-navi.jp/index.html/">http://www.shizuoka-kasen-navi.jp/index.html/</a> 静岡県内の河川について水系ごとに分かり易く情報を集約し、紹介している。

## (2) 地理院地図の利用方法

### ① 地形図の利用方法

【手順1】 地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) にアクセスする。

【手順2】 地区の選択


- ① サイト上のQの右にご自身の地区を入力する (〇〇市〇〇町)。
- ② ご自身の地区を選択する。

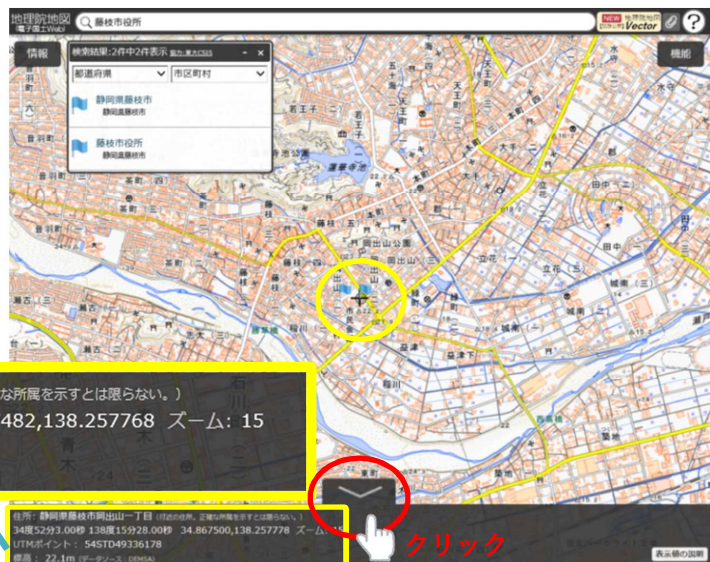
① 〇〇市〇〇町 (ご自身の地区を入力)



選択した地区の地形図が表示される▶

【手順3】 地点、標高の確認

- 画面下部中央の  ボタンをクリックすると、地図中心地点の住所、経緯度、標高が表示される。



拡大

クリック

## 【手順4】 凡例の表示

- ① サイト左上の「情報」ボタンをクリックする。
- ② 「選択中の情報」ボックス内の「解説」ボタンをクリックすると、「凡例を表示」ボタンが表示される。
- ③ 「凡例を表示」ボタンをクリックして、「タイル一覧」ページを表示する。
- ④ 「タイル一覧」ページの「標準地図 (ZL15~17) 凡例 [PDF 650KB]」ボタンをクリックして、「凡例」を表示させる。

The screenshot shows the GSI website interface. On the left, a sidebar contains a menu with '情報' (Info) highlighted. The main map area shows a city map. On the right, there are three 'タイル一覧' (Tile List) panels. The middle panel is highlighted with a red box and contains the legend button mentioned in step 4. Red circles and numbers 1 through 4 indicate the sequence of actions described in the text.

## 凡例

記号					
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	4 車線以上	△74.4	電子基準点	・124.7	特別標高点
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	2車線幅員13m以上	△52.4	三角点	・125	標高点
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	2車線幅員13m未満	○21.7	水準点		
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	1車線道路				
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	幅員3.0m未満の道路	○	市役所 (東京都の区役所)	⊕	神社
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	徒歩道	○	町役場 (指定都市の区役所)	⊕	寺院
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	高速道路	○	官公署	⊕	高塔
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	国道及び国道番号	○	裁判所	⊕	煙突
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	都道府県道	○	税務署	⊕	風車
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	有料道路	○	消防署	⊕	油井・ガス井
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	庭園路	○	保健所	⊕	灯台
≡≡≡≡≡≡≡≡≡≡	石段	○	警察署	⊕	坑口
		○	交番	⊕	温泉
		○	郵便局	⊕	噴火口・噴気口
		○	普通鉄道	⊕	採鉱地
		○	地下の鉄道	⊕	城跡
		○	特殊鉄道	⊕	史跡・名勝・ 天然記念物
		○	路面の鉄道	⊕	
		○	索道(リフト等)	⊕	
		○	(J/R線) 建設中または 運行中止中の鉄道	⊕	
		○	橋及び高架部	⊕	
		○	都府県界	⊕	
		○	北海道総合振興局・振興局界	⊕	
		○	市区町村界	⊕	
		○	所屬界	⊕	
		○	特定地区界	⊕	
		○	送電線	⊕	



### 【手順5】「地形図」画像の保存

- ① サイト右上の「機能」ボタンをクリックする。
- ② 「ツール」ボタンをクリックする。
- ③ 「画像として保存」をクリックして、手順に従い名前を付けて画像を保存する。



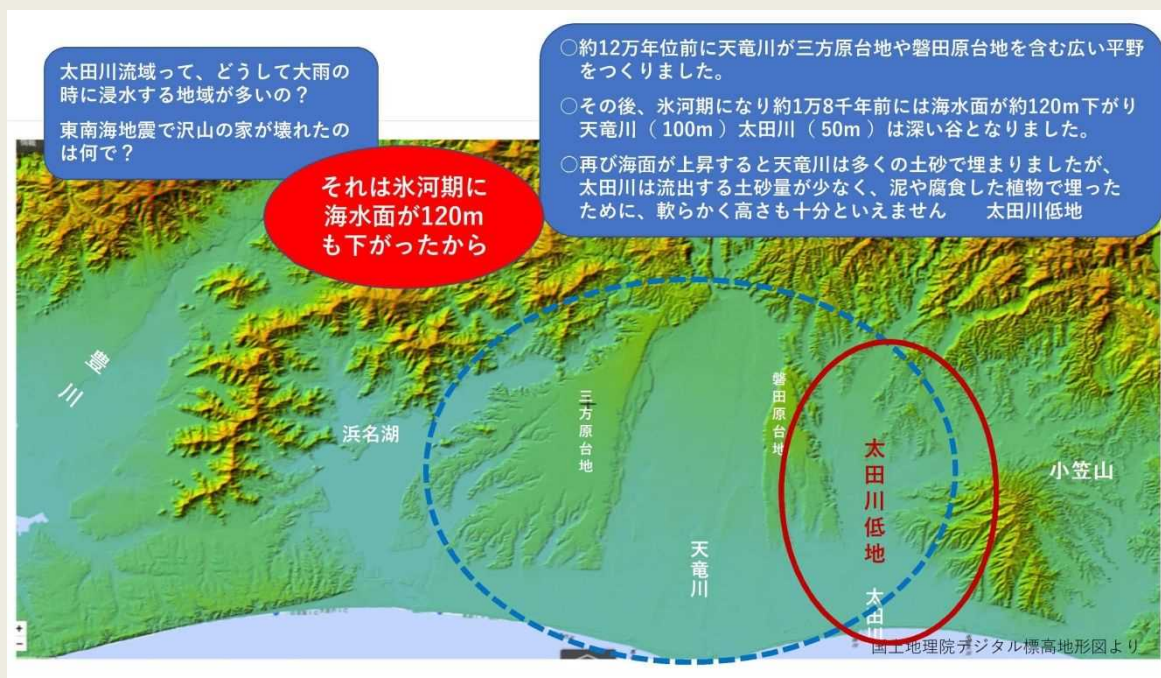
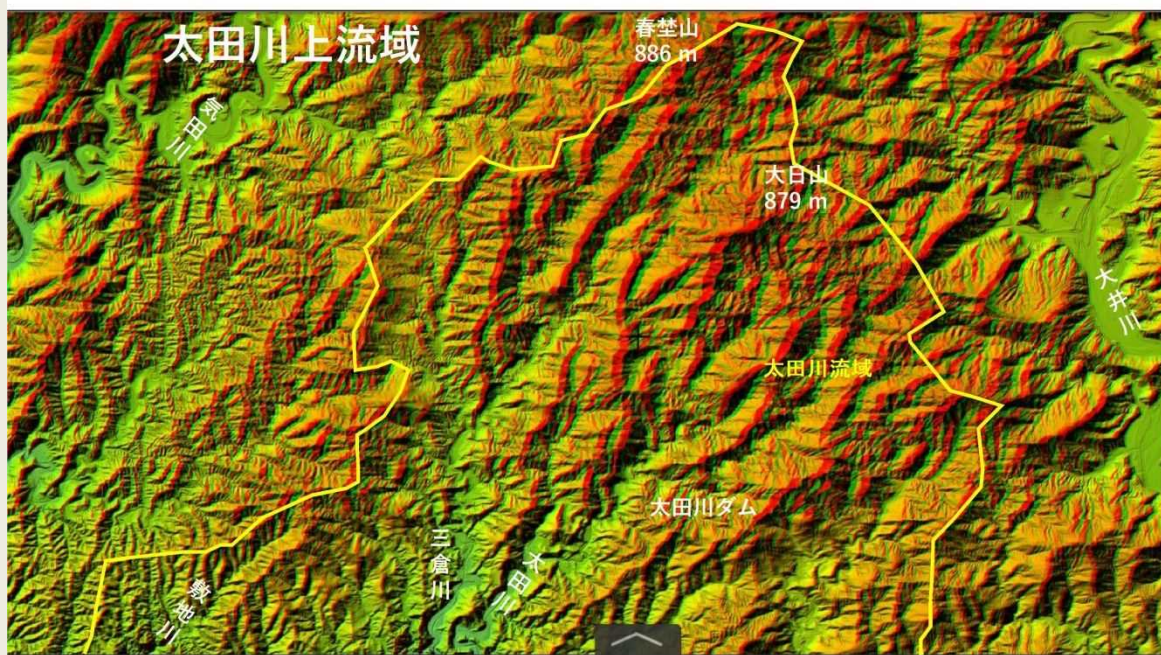
※地理院地図の利用については、国土地理院コンテンツ利用規約に従ってください。

<https://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.html>

## ◆ 地理院地図を用いた資料の紹介

地理院地図では、土地の起伏を示した地図を作成することができます。

下の資料は、NPO法人静岡地域づくり研究会が作成した資料の紹介です。ここではアナグリフと呼ばれる立体地形図を活用して、地形の成り立ちを説明しています。地形の起伏がわかりやすく表現されています。(左目に赤、右目に青のフィルムを貼ったメガネを通して見ると、より立体的に見えるようになります。)





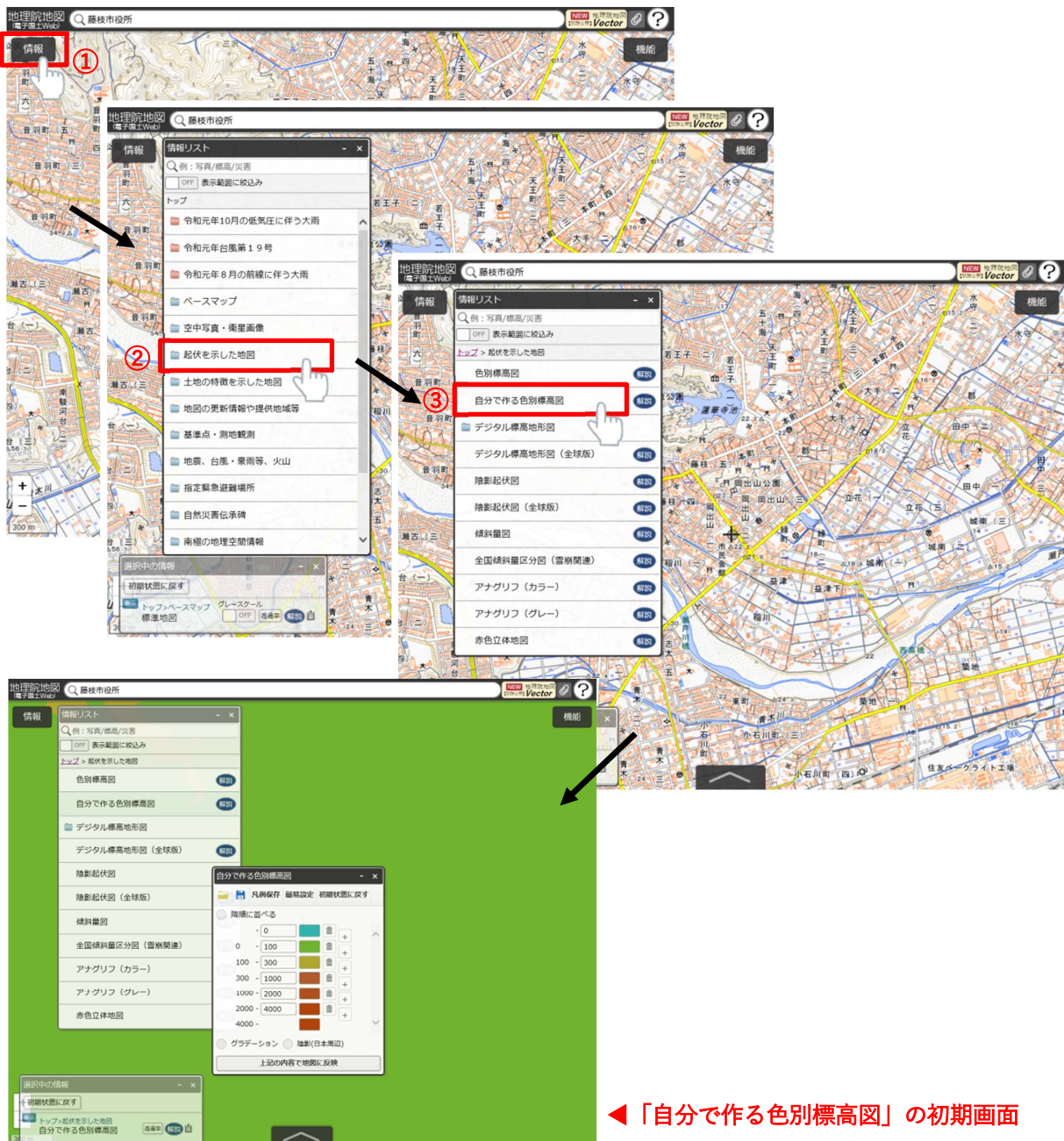
## ② 色別標高図の利用方法

土地の高低を知るために、地理院地図の機能である「自分で作る色別標高図」より地形の特徴を確かめ、地図をご自身の地区に差し替えて、小学校など目印となるものを確認しておきましょう。

【手順1】【手順2】は、P64の「地形図」の場合と同じです。

【手順3】「自分で作る色別標高図」の表示

- ① サイト左上の「情報」ボタンをクリックする。
- ② 「起伏を示した地図」ボタンをクリックする。
- ③ 「自分で作る色別標高図」を選択する。

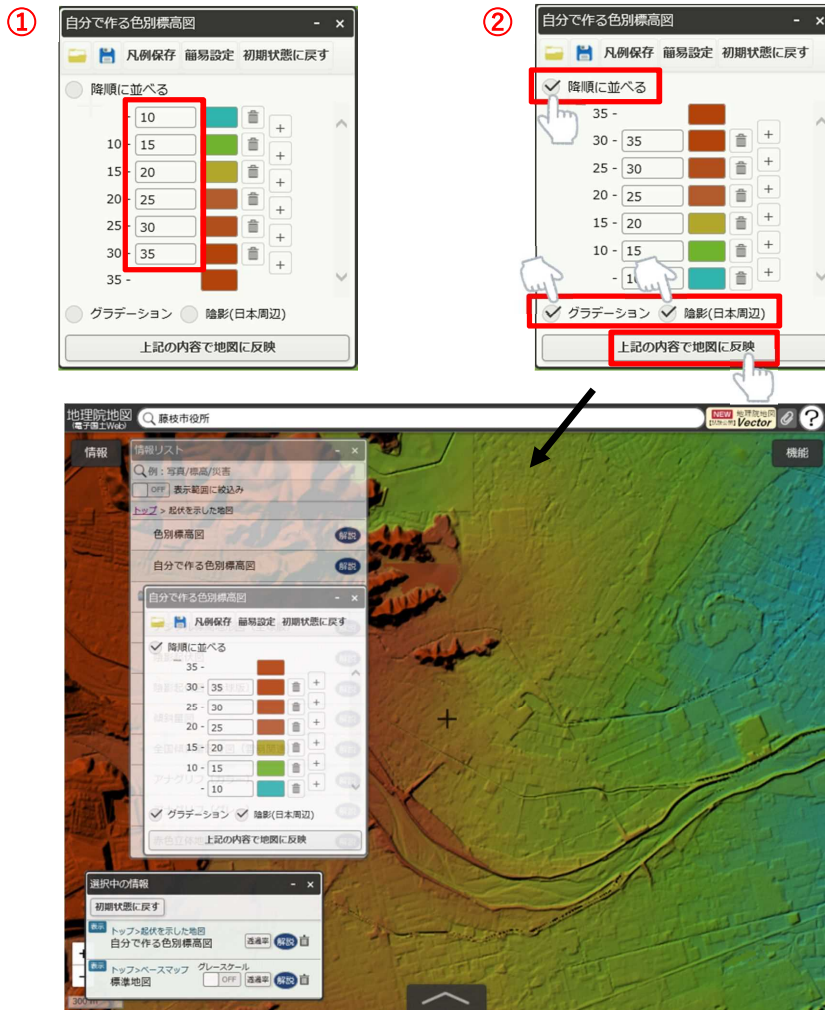


◀「自分で作る色別標高図」の初期画面

【手順 4】「自分で作る色別標高図」の設定

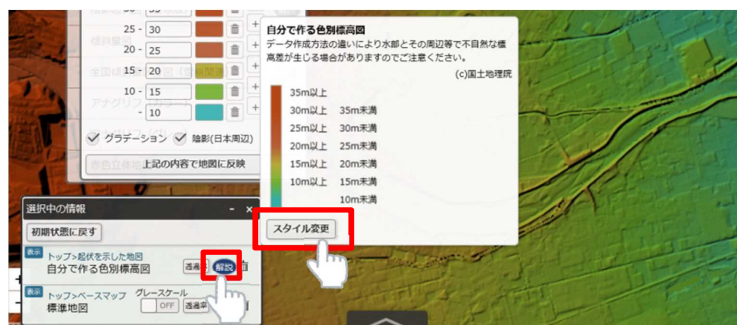
画面中心の標高は 22.1m、藤枝市役所を例として作成。

- ① 標高値の入力箇所、10、15、20、25、30、35 を入力する。
- ② 降順に並べる、グラデーション、陰影（日本周辺）のボタンにチェックを入れ、「上記の内容で地図に反映」をクリックする。



※Internet Explorer では地図と重ね合わせた表示はできません。

※凡例が表示されない場合は「解説」ボタンをクリックし、さらに「スタイル変更」ボタンをクリックすることで表示されます。



### 【手順5】「自分で作る色別標高図」の画像の保存

- ① サイト右上の「機能」ボタンをクリックする。
- ② 「ツール」ボタンをクリックする。
- ③ 「画像として保存」をクリックして、手順に従い名前を付けて画像を保存する。
- ④ 凡例保存をクリックし、凡例を保存する。



※地理院地図の利用については、国土地理院コンテンツ利用規約に従ってください。

<https://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.html>

### ③ 治水地形分類図の利用方法

治水地形分類図は、治水対策を進めることを目的に、国が管理する河川の流域のうち主に平野部を対象として、扇状地、自然堤防、旧河道、後背湿地などの詳細な地形分類及び河川工作物等が盛り込まれた地図です。

川と地形の成り立ちの関係について理解するために、目印などを入れてわかりやすく編集しましょう。

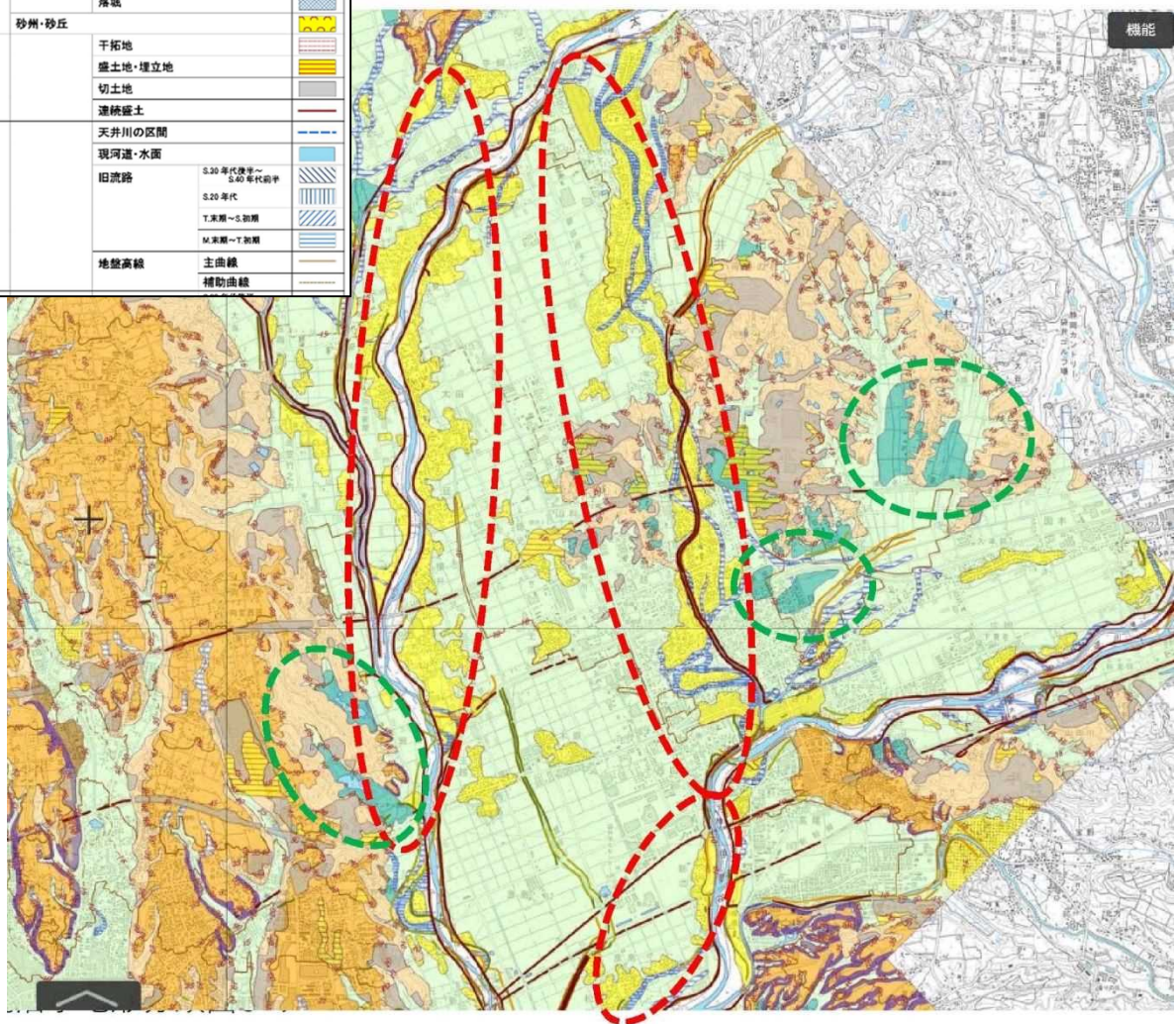
凡例					
大分類	中分類	小分類	細分類	記号	
山地					
台地 段丘		段丘面			
		崖(段丘崖)			
		深い谷			
低地	山麓堆積地形				
		扇状地			
		氾濫平野			
		氾濫平野	後背湿地		
		扇状地	微高地(自然堤防)		
	氾濫平野		旧河道(明瞭)		
			旧河道	旧河道(不明瞭)	
			滞溜		
	砂州・砂丘				
	人工改変地形		干拓地		
		盛土地・埋立地			
		切土地			
		連続盛土			
その他の地形等		天井川の区間			
		現河道・水面			
		旧流路	S.30年代後半～S.40年代前半		
			S.20年代		
			T.末期～S.初期		
		M.末期～T.初期			
		地盤高線	主曲線		
			補助曲線		



自然堤防



湿地

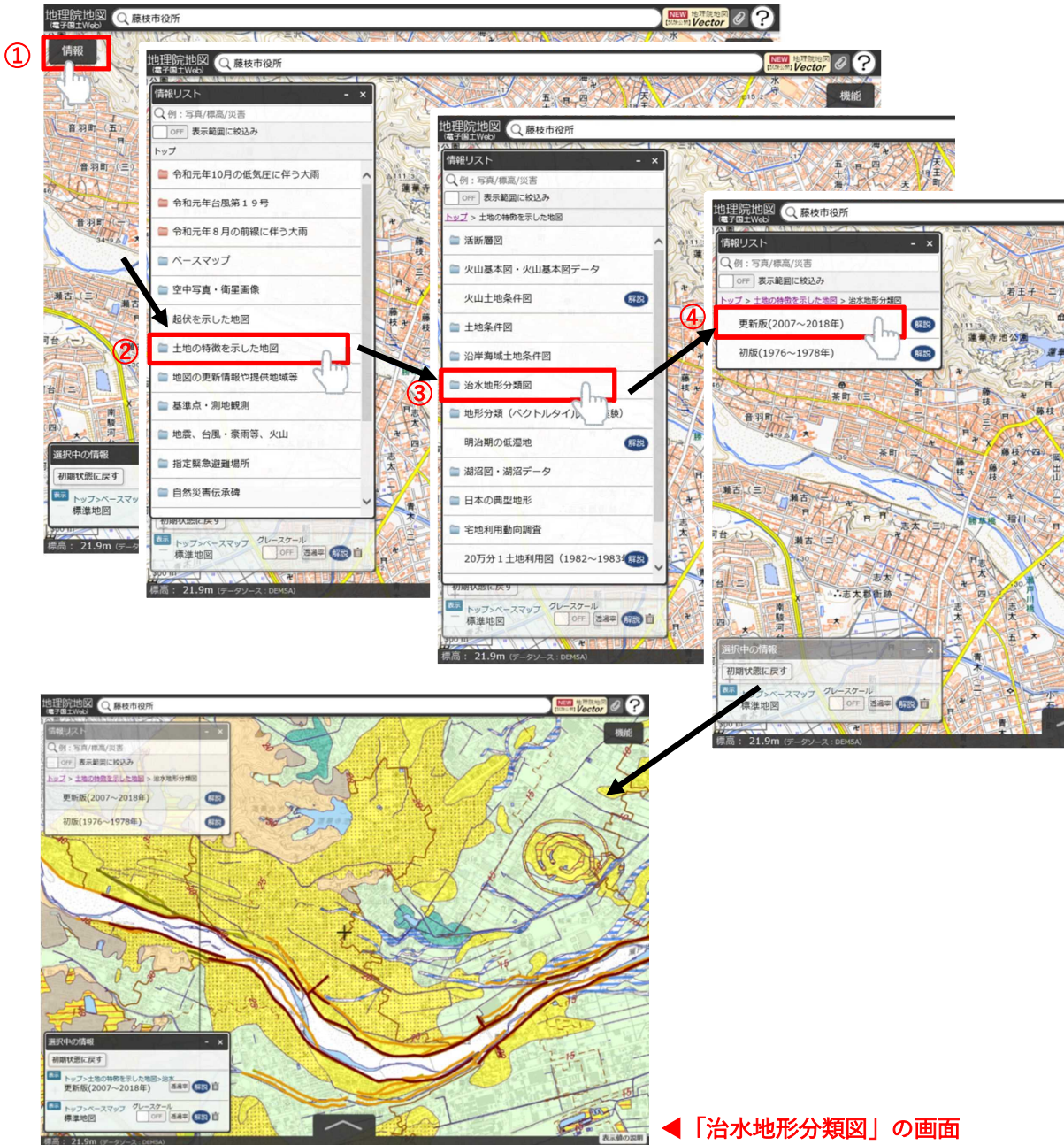


治水地形分類図を用いた資料の作成例

【手順1】【手順2】は、P64の「地形図」の場合と同じです。

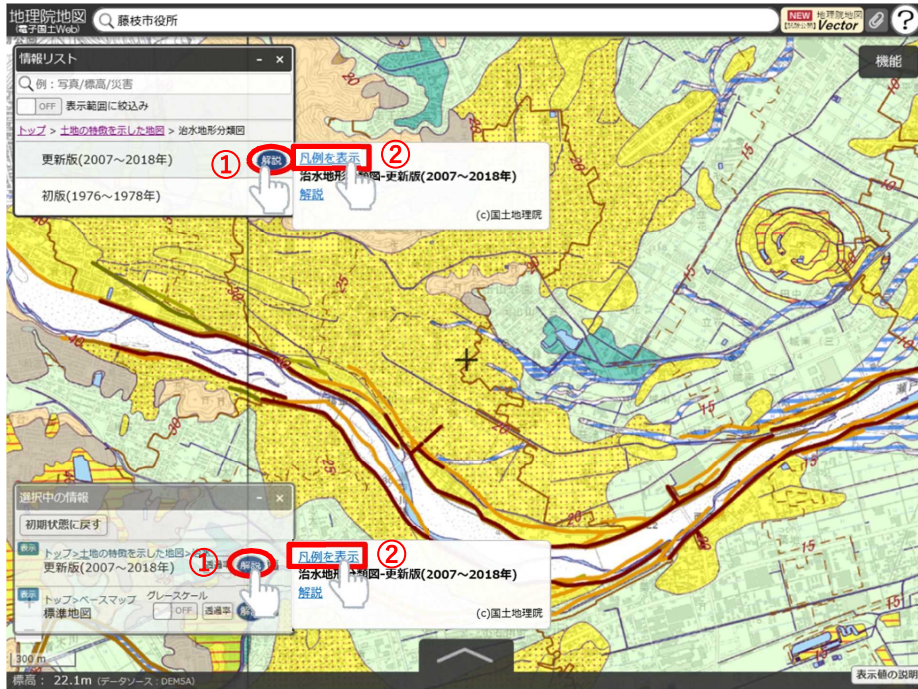
### 【手順3】治水地形分類図の表示

- ① サイト左上の「情報」ボタンをクリックする。
- ② 「土地の特徴を示した地図」ボタンをクリックする。
- ③ 「治水地形分類図」を選択する。
- ④ 「更新版（2007～2018年）」を選択する。



【手順4】「治水地形分類図」の凡例の表示

- ① 「情報リスト」ボックス、または「選択中の情報」ボックス内の「解説」ボタンをクリックすると、「凡例を表示」ボタンが表示される。
- ② 「凡例を表示」ボタンをクリックして、「凡例」を表示させる。



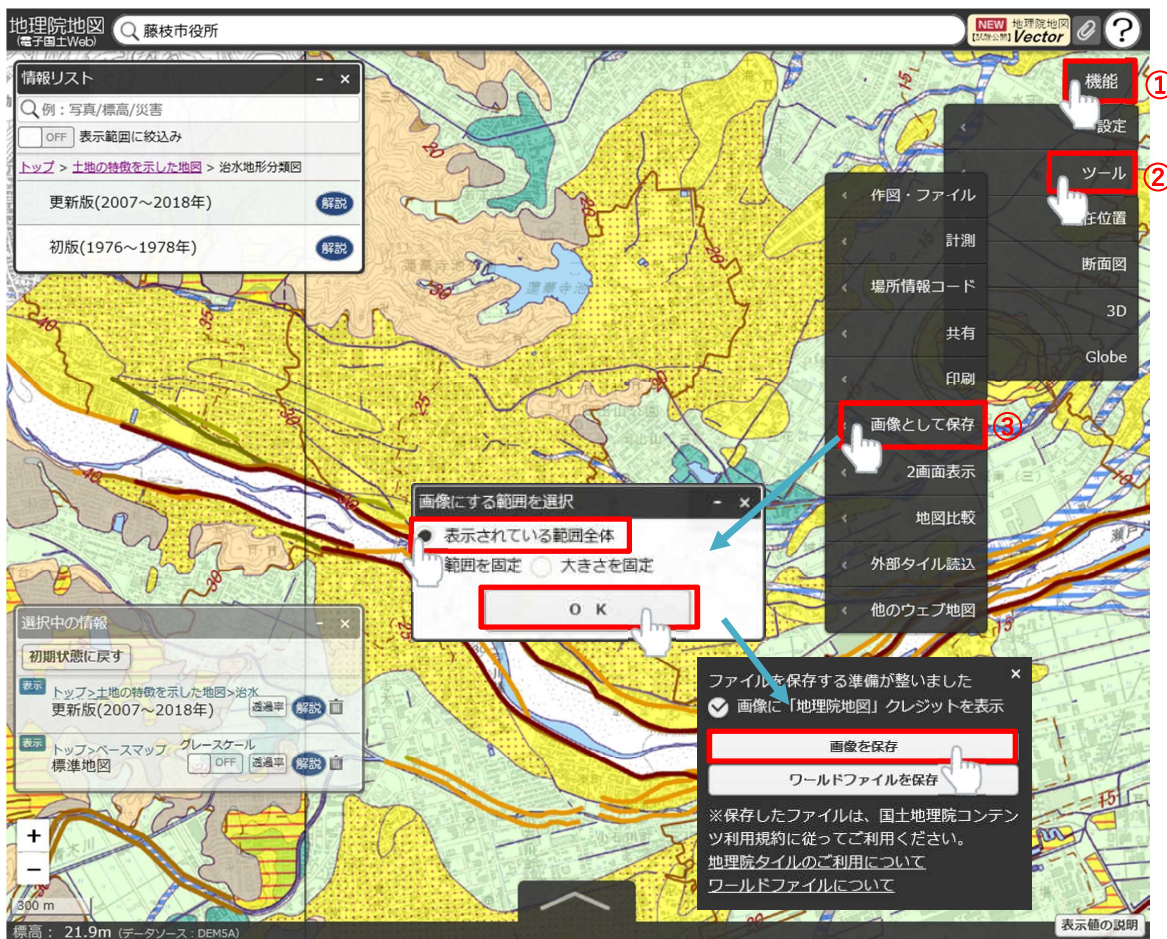
凡例

大分類	中分類	小分類	細分類	記号	
山地					
台地・段丘		段丘面			
		崖(段丘崖)			
		浅い谷			
低地	山麓堆積地形				
	扇状地				
	氾濫平野				
	氾濫平野	後背湿地			
	扇状地	微高地(自然堤防)			
	氾濫平野	旧河道	旧河道(明瞭)		
		落堀	旧河道(不明瞭)		
	砂州・砂丘				
人工改変地形		干拓地			
		盛土地・埋立地			
		切土地			
		連続盛土			
その他の地形等		天井川の区間			
		現河道・水面			
	旧流路		S.30年代後半～S.40年代前半		
			S.20年代		
			T.末期～S.初期		
			M.末期～T.初期		
地盤高線	主曲線				
	補助曲線				

大分類	中分類	小分類	細分類	記号	
河川管理施設等	旧堤防	旧堤防	S.30年代後半～S.40年代前半		
			S.20年代		
			T.末期～S.初期		
			M.末期～T.初期		
	河川管理施設(許可工作物も含む)	堤防	完成堤防		
			暫定堤防		
			暫々定堤防		
		護岸			
			河川工作物	水位観測所	▲
			流量観測所	□	
			水質観測所	○	
			雨量観測所	○	
			樋門・樋管		
			水門・開門		
		揚排水機場			
事務所・出張所	事務所		●		
	出張所		●		
	距離標		●		
	測線		—		

### 【手順5】「治水地形分類図」の画像の保存

- ① サイト右上の「機能」ボタンをクリックする。
- ② 「ツール」ボタンをクリックする。
- ③ 「画像として保存」をクリックして、手順に従い名前を付けて画像を保存する。



※地理院地図の利用については、国土地理院コンテンツ利用規約に従ってください。

<https://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.html>

【参考】

川が作る地形の特徴については、国土地理院「山から海へ川がつくる地形」をご覧ください。源流から河口までを上流部、中流部、下流部の3つのエリアに分けて、それぞれのエリアで発達する地形について、その特徴と成り立ちが判り易く解説されています。(https://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUIKU/kawa\_0-1.html)

